

図書館だより

金沢市立朝日小学校図書館
2014年 4月



春だから、元気のでる読書

新学期が始まりました。

朝日小学校は、全校児童5名。人数は少ないけれど、意欲は誰にも負けません。

学校図書館は、そんなみなさんを応えんしていきます。

「○○○を調べているんだけど、……」「このシリーズを全部読みたいなあ。」
また、「なにか楽しい本を読みたいなあ。」など、みなさんの本の希望を話してください。きっとお役に立ちますよ。

本年度もよろしく願います。

学校図書館司書 本田



1年間でなんさつ読めるかな？

本とのきずな ますますつよく！

昨年度は、600さつを大きくこえた貸し出し数でしたね。

そこで今年は、5人で500さつが目標です。(3年生 110冊、6年生 60冊)

昨年 図書館だより掲載の齊藤孝さんの言葉です。もういちど声に出して読んでみましょう。

『読書のやり方はいろいろあってもいいけれど、小学生や中学生のうちにたくさん読んでおくと、それは将来 圧倒的な差になってくるんだ。ぜんぶを理解できなくてもいいから、イッキ！感をもって、どんどん読んでいく。』

そうするうちに、自分の好みもわかってくるし、いろんな知識や考え方も、知らず知らずのうちに身についていくはずだ。』

「齊藤孝のイッキによめる！名作選 6年生」まえがきより

4月 おすすめの本

キツネのまいもん屋

富安 陽子・作(新日本出版社)

主人公のひさは、おせんべいをかじりながら、雪道を歩いていると、1ぴきのキツネに出会いました。キツネにおせんべいを半分わけてやり、あとについて行くと小さなこわれかけた小屋につきました。

小屋の中は、おかしやさんでした。すすめられてクジをひくと、なんと「大あたり！」

さあ、何をもらえたのでしょうか。

富安陽子さんの本は、「やまんばあさん」シリーズ、「小さなスズナ姫」シリーズなどとても楽しいです。朝日小学校にある「ねこじゃら商店へいらっしやい」もおすすめです。次 読んでみてください。



小学5年生

重松 清・文

(文藝春秋)

この本に登場する男の子は、みんな小学5年生。だから、友だち関係、親子関係など中高学年の男子は、ほぼ共感できます。

子どもだけでなく、大人にもファンがいます。ある保護者の方が「重松清の作品は好きです。」とおっしゃっていました。

重松清の本は、もう1さつ「はじめての文学 重松清」が朝日小学校に

あります。

保護者の皆さんもぜひ読んでください。



※2冊の本は、3年6年の教科書『本は友だち』に紹介されています。